学校番号	２１３

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇自らの生活に関心をもち、調査・研究などに積極的に取り組みましょう。
・防災や環境、フェアトレードなどについて調べ、発表すること通して、考え、知識を身につけます。友だちの考えを知り、多様な考えを学び、自分の考えを持ちましょう。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活を目指します。

2　学習の到達目標

生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	防災、環境、フェアトレードなどに関心を持ち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	防災、環境、フェアトレードなどについて関心をもち、課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	防災、環境、フェアトレードなどに関する、基礎的・基本的な技術を身に付けている。	防災、環境、フェアトレードなどに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、実習記録表、 レポート、発表、 自己評価　等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、実習記録表、 レポート、発表、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作品、 レポート、発表、 定期考査の結果、 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 プリントやワークシートの記述 製作計画、実習記録表、 レポート、発表、 定期考査の結果　等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	防災	○防災について学ぶ ○防災について調べ発表する ○防災ゲーム ○防災クッキング ○防災頭巾	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:防災の重要性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:災害への備えや避難所での生活について考え、まとめたり、発表したりしている。 c:過去の災害について学び、課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断し表現している。実習を通して作品の製作ができる。 d:災害への日々の備えの重要性を理解し、必要な知識を身につけている。	授業観察、ワークシート、発表、自己評価、相互評価製作計画、実習レポート、製作物、定期考査
2学期	環境	○環境について学ぶ ○ゴミ事情について学ぶ ○世界のゴミ事情について調べ発表する ○エコクッキング ○アクリルたわしの製作	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ 	a:環境保全の重要性について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:世界のゴミ処理方法を調べ、ゴミの適切な処理方法について考え、意見をまとめ発表したりしている。 c: さまざまな情報を収集・整理したり、ポイントをまとめる力を身につけている。実習を通して作品の製作ができる。 d:環境に配慮した生活を工夫し、行動に移すための知識を身につけている。	授業観察、ワークシート、発表、自己評価、相互評価製作計画、実習レポート、製作物、定期考査
3学期	フェアトレード	○フェアトレードについて学ぶ ○フェアトレード商品の試食 ○貿易ゲーム	○ ○ ○	○ ○ ○	○ 	○ ○	a:フェアトレードについて関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b: フェアトレードについて、課題を見出し、その解決を目指して考え、適切に判断し、表現している。 c: フェアトレードを実現するために自分ができることを実践することができる。 d:世界の貿易の実情や携わる国の人々の暮らしを理解している。	授業観察 プリント レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。